

遊休生産設備の活用で被災地支援

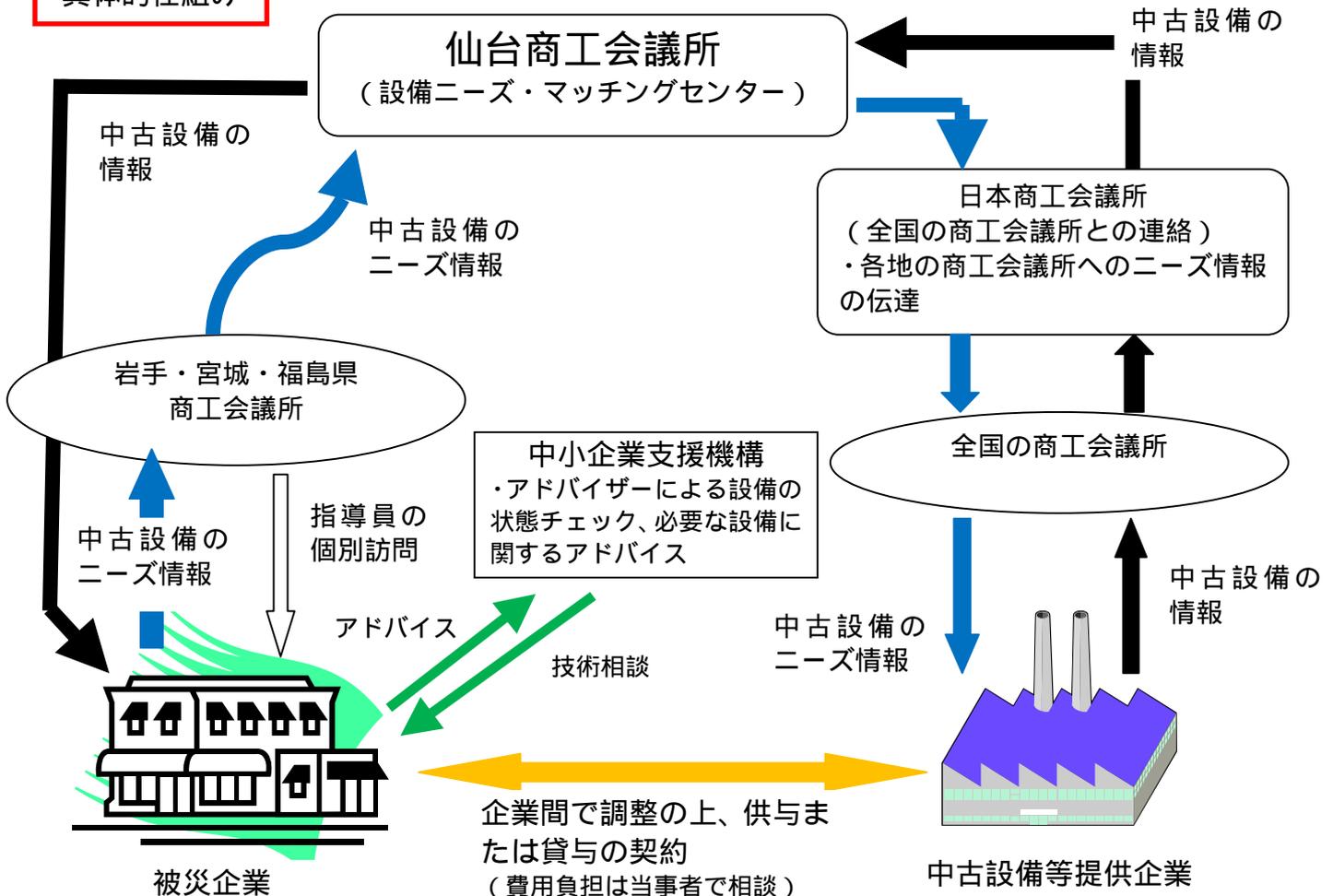
“ 中古生産設備マッチングを商工会議所が開始 ”

仙台商工会議所が中心となり、全国の商工会議所を中継して加盟企業間で遊休生産設備を活用する活動が始まりました。

この取り組みは、東北地方で震災により工場等が被災して工作機械や生産設備が使えなくなった企業に対して、全国の企業に呼びかけまだ使えるが倉庫等で眠っている機械設備などを提供してもらうものです。

これまでに、名古屋商工会議所や大分商工会議所から被災地の商工会議所を通じて、被災した企業に生産機械などを届けています。今後この取り組みを全国に広げていくとの事です。

具体的仕組み



JAMは、被災地の中小企業が復旧するために全国にある遊休設備の活用が不可欠であると経済産業省の審議会等で活用方法の確立を急ぐように意見を出していました。